事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月22日（金）

事務事業	市有建物営繕工事執行委任事務	担当課	建築住宅課	担当係	施設住宅係	管理番号	4115
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等	公共施設適正配置計画				
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	本事業は、市有建物の建設や不具合箇所の改修等について、各建物所管課より執行委任を受け、営繕工事（設計、工事及び監理）を行うものである。
目的 ※何のために	施設利用者に、利便性が高く安全・安心な建物を提供するため。
対象 ※誰・何を対象に	市有建物
手段 ※どのように	各建物所管課より委任を受け、専門知識を有する課が営繕工事を執行する。
成果 ※何を求めるか	営繕工事が適正かつ円滑に行われる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

・ 執行委任	・ 施設の調査
・ 設計業務	・
・ 工事執行	・
・ 監理業務	・
・ 取扱説明実施	・
・ 担当課への引き渡し	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			椿沢学童保育室建築工事 消防分署建設工事設計業務委託 等	花園消防署川本分署建設工事 深谷消防署藤沢分署建設工事 等	花園消防署川本分署建設工事 深谷消防署藤沢分署建設工事 等			
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	
	決算額		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）		1.85	2.40	3.12	2.42	2.42	
	人件費相当試算 ※1		14,627,950	18,676,800	25,287,600	19,718,160	19,718,160	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			14,627,950	18,676,800	25,287,600	19,718,160	19,718,160	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	営繕調査の実施件数	目標値	件							■
			実績値		17.00	9.00	10.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		毎年、調査件数が増減するために、目標を設定できない。							
		実績値による									
■	活動指標２	営繕執行件数	目標値	件							■
			実績値		15.00	25.00	23.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		毎年、営繕件数が増減するために、目標を設定できない。							
		実績値による									
■	成果指標１	工期内に完了した工事の割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		93.00	92.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		営繕執行依頼を適正に対応する必要があるため、目標値を１００%に設定する。							
		工期内完了件数／営繕執行件数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 営繕調査件数・営繕執行件数は、施設所管課から依頼を受け件数が確定する。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 営繕執行依頼を受けた業務は、全て工期内に完成した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	施設住宅係長　大塚光晴

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	工事・業務において、監督員による進捗の確認、受注者への的確な指示を行うことで、工程管理の徹底を図る。 設計業務において、要求内容を把握し効果的かつ効率的な工法等を検討することにより基本設計の質を向上させる。 関係法令・基準との適法性・適合性を随時確認することにより担当職員のスキルアップを図る。 設計業務完了前に設計検討会を実施し、担当職員２名による積算確認を実施する。
達成状況 及び その効果	営繕執行業務において、定例会議などで詳細な工程管理を行い、余裕をもって工期内に完成させた。 関係法令・基準との適法性・適合性を随時確認するため、設計説明会を実施した。 また、工事発注の際、市場単価情報の確認・設計内容の確認・積算確認を複数の職員で行うなど、チェック体制の強化に努めた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	市有建物営繕工事執行委任事務	担当課	建築住宅課	担当係	施設住宅係	管理番号	4115

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

施設利用者に利便性が高く安全・安心な市有建物を提供するには、適正かつ円滑な営繕執行体制が必要であるため、現状のまま継続し質の向上を図る。

評価者	建築住宅課長　中島武彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

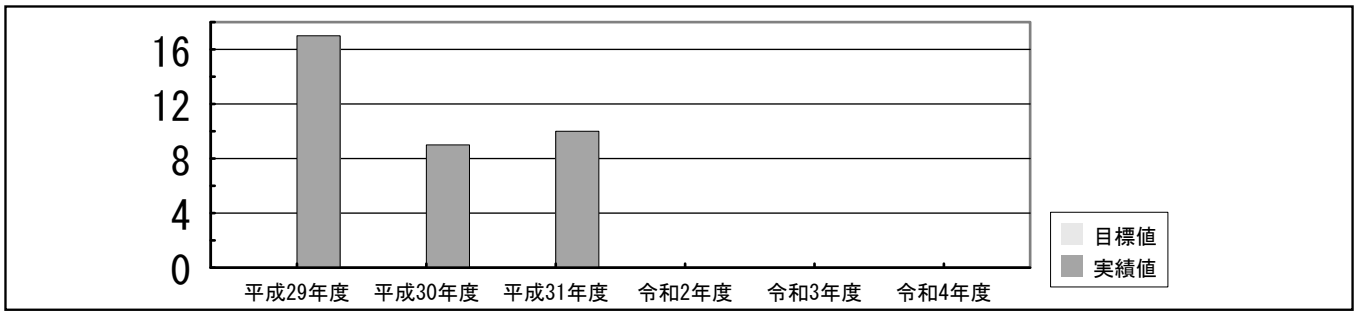
改善・改革案	関係法令、基準との適法・適合性を随時確認するため、設計検討会を実施する。 業務発注にあたり、図面・積算誤り等人為的ミスを防ぐため、複数の担当者による内容確認を実施する。 計画に沿って業務を進めるため、進捗の確認・受注者への的確な指示・指導を行い、業務管理の徹底を図る。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

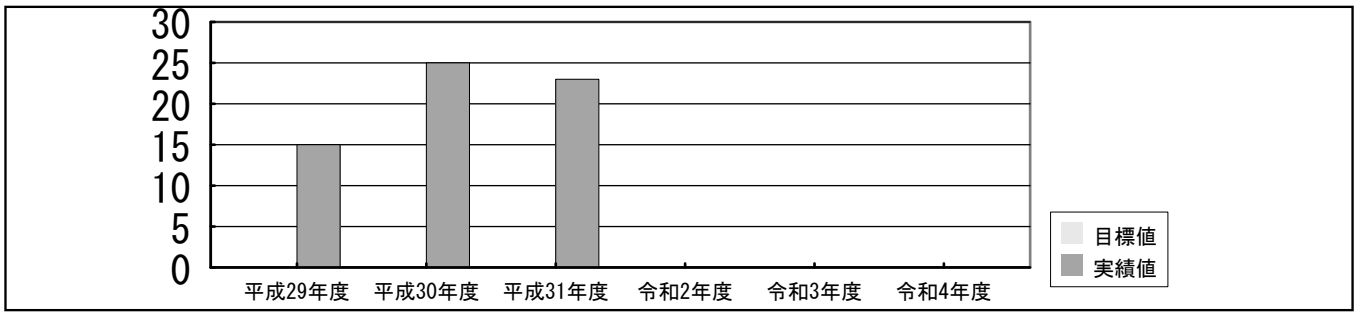
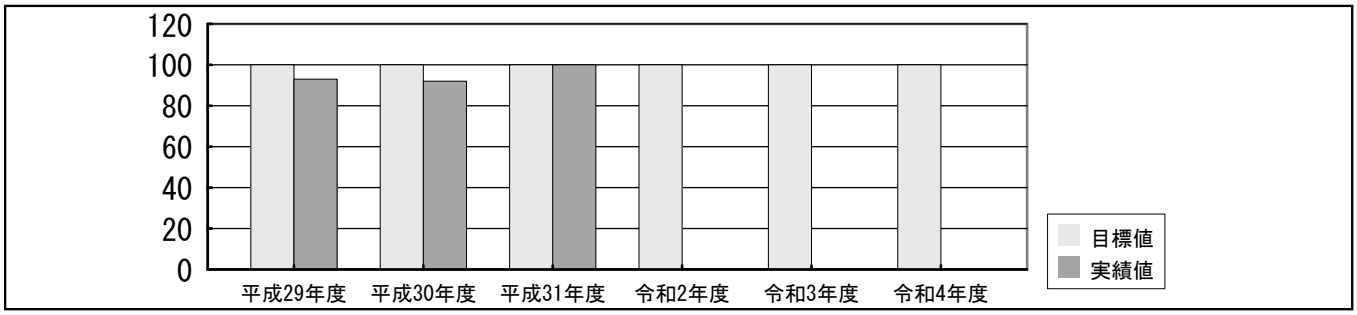
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	営繕調査の実施件数



区分	活動指標２	指標名	営繕執行件数



区分	成果指標１	指標名	工期内に完了した工事の割合